

もみじ



県立広島病院 ☎ 082-254-1818 (代)
〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号



理念：患者さんの権利を尊重し、県民に信頼される病院をめざします。

連携医療機関のご紹介

今回は、令和7年10月に新規開院された『秋本クリニックひろしま駅北』の太田 浩志 院長です。



太田院長

秋本クリニック ひろしま駅北

〒732-0052
広島市東区光町 2-2-27 1F
電話 / 082-263-3777
院長 / 太田 浩志
診療科目 / 訪問診療、外来診療、
居宅介護支援、緩和ケア



外観

○これまでの歩みについて教えてください。

愛光学園から広島大学医学部へ進み、消化器・移植外科に入局して外科医としての指導を受け、大学院に際し、主に胃癌の診療や手術に取り組む日々を送りました。広島大学病院で勤務していた6年ほど前に、秋本悦志先生（現 秋本クリニック院長）はじめ、在宅で診療や看取りに取り組む先生方に

出会いました。それまでは広島大学病院ほか基幹病院での勤務が主でしたので、在宅医療という領域の仕事があることがとても新鮮に感じられ、自分も在宅医療に身を置いて一緒に取り組みたいと思うようになりました。現在、在宅医療とともに二葉の里病院の緩和ケア病棟の非常勤医師として勤務もし、在宅医療と緩和ケア病棟の両方の橋渡しをする役目も頂いています。

○その後、どのように診療活動に影響しましたか。

在宅医療を担うスタッフと協働するなかで、恩師である先輩の先生方からも多くのことを学びました。全ての人に平等に死は訪れる、医師として少しでもより良い終焉の迎え方をさせてあげなければいけない。しかし「死」のみにとらわれていては、患者さんの残された時間をよりよくすることはできない。いつか来る「死」ありきではなく、「今」を大切にしたいの先に、たまたま死があると、「『今』をどのように過ごしていきたいのか」など、「今」を大切にすることの積み重ねが大切であると教えを頂き、今も大切に胸にしまっており、在宅医療の現場では、重い病気があっても「旅行に行きたい」「墓参りがしたい」「馴染みの店のラーメンが食べたい」など、様々なご希望をお持ちであり、可能な限りサポートをするようにしています。「もうできやしない」と諦めてしまっただけで希望を出されない方もおられますので、「できるかどうかはさておき、まず、したいことをおっしゃってみてください。チーム皆で知恵を出し合えばできることも多くありますから」とお伝えすることを大切にしています。

○医院の特徴について教えてください。

当法人では医師が医師としての仕事（患者さんに向き合うこと）に集中できるように様々なスタッフに

サポートしてもらっています。特に特徴的なのはPA (Physician Assitant; 診療にも同行する事務スタッフ) を擁していることです。PAは予習カルテの作成、訪問看護ステーションとの連携、患者さんとの時間調整や訪問ルートを組み立てなど、診療の上で必要なあらゆる段取りを行う役割のスタッフで、PA無くして当法人の訪問診療は成り立ちません。また、患者さんの病状や治療方針をスムーズに共有し、急変時にも辛い時間をできるだけ待たせないという方針のために同一法人内に訪問看護ステーションがあることも大きな特徴です。また、PCA ポンプやシリンジポンプなどの医療機器を自前で取り揃えていることにより、ご自宅で緩和ケア病棟と同等の医療処置を迅速に受けられるようにしています。各種の医療処置（胸腔穿刺・腹腔穿刺・褥瘡のデブリードマンなど）においては、外科医として培った手技を活かしています。上記の特徴を活かしつつご自宅での生活を支えています。在宅では対応が完結できない患者さんもおられますので、二葉の里病院の緩和ケア病棟の非常勤勤務医としての立場からも、病院での最期を希望される場合には適切な時期に緩和ケア病棟への入院を調整するようにしており、患者さんのよりよい終末期のために在宅と病院の橋渡しをするように心がけています。

○県病院はどのような存在ですか？

いつも様々な状況の患者さんの紹介をしていますが、急を要する病状にも迅速に対応して頂いており、本当に頼りにしているとともに、常に感謝しております。

【取材後記】

患者さんの生活の質を強く意識されていること、また訪問診療だけでなく、まだ在宅療養の気持ちが固まらない方の外来相談もしっかり取り組まれていることが印象的でした。今後とも当院との連携を宜しくお願いいたします。

令和8年度採用

臨床研修医16名を迎えました!!



4月1日より、新たに医科臨床研修医15名と歯科臨床研修医1名の計16名が入職しました。医師または歯科医師国家試験に合格したばかりのまだ初々しい16名は、未来への希望に胸を膨らませる一方で大きな不安を抱えながら、当院での研修を開始しています。

医科臨床研修に関しては、2004年より新臨床研修制度が開始され、医学部を卒業し医師国家試験に合格した医師は、2年間の臨床研修を行うことが義務付けられています。この2年間で多くの到達目標を達成し、修了判定を受けた研修医は、厚生労働省より発行される臨床研修修了証をもって自立し、専門研修へと進むことができます。

この2年間は、適切な指導体制のもと、内科分野、救急分野、外科、小児科、産婦人科、精神科、一般外来診療、地域医療などの必修研修に加え、将来目指す医師像に必要な診療科も自ら選択し、さまざまな知識と経験を積み重ねるとともに、社会人としても成長する重要な期間です。

また、歯科臨床研修においては、1年間の臨床研修が義務付けられており、協力型研修施設等での研修を通じて実践的な能力を身につけ、一人前の歯科医師として成長していきます。

当院は基幹型（歯科は管理型）臨床研修病院として、社会の期待に応える若き医師・歯科医師を育てる使命を担っております。当院では、千田町夜間急病センターに出務される広島市医師会の先生方や救急隊の方々にも研修医の評価にご協力いただいております。

当院に関わる医療関係者の方々のみならず、患者さんやご家族の皆様からも忌憚のないご意見・ご指導が研修医一人ひとりの成長につながります。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

県立広島病院からのお知らせ

5月のがんサロン

開催日時 令和8年5月20日(水) 14:00～15:00
場所 新東棟2階 研修室 及び オンライン
テーマ 『療養を支える支援制度』
講師 患者総合支援センター / 加藤 聖也 医療ソーシャルワーカー

対象 悪性腫瘍(がん)の患者さん及びそのご家族
当院での受診歴は問いません
問合せ先 がん相談支援センター
☎082-256-3561
hphchiikirenkei@hpho.jp



二次元コードからも参加申込できます!

自分らしい人生が歩めるよう 一緒に考えていきましょう！



近年、医療の中で「遺伝」や「遺伝子」に関する検査や相談の重要性が高まっています。その中で、遺伝に関する専門的な知識と支援技術を持つ医療職が「遺伝カウンセラー」です。

遺伝カウンセラーとは？

遺伝カウンセラーは、遺伝に関する疾患や体質について、患者さんやご家族が正しく理解し、自分らしい選択ができるよう支援する専門職です。医学的な情報提供だけでなく、不安や悩みに寄り添いながら意思決定をサポートします。

主な業務内容

① 遺伝カウンセリングの実施

- ・ 遺伝性疾患の説明
(疾患の特徴、遺伝形式、再発リスクなど)
- ・ 遺伝学的検査の説明
(メリット、デメリット、結果の解釈)
- ・ 心理社会的サポート

② 遺伝学的検査に関する支援

- ・ 結果説明後のフォローアップ
- ・ 検査前後の説明と理解度の確認
- ・ 必要に応じた家族(血縁者)への情報提供

③ 院内外との連携

- ・ 主治医、臨床遺伝専門医、看護師との情報共有
- ・ 他診療科との協働
- ・ 必要に応じた専門施設への紹介



どのような場面で関わるのか？

- 家族歴から遺伝性疾患が疑われる場合
- がんゲノム医療における遺伝学的評価
- 次のお子さんに関連する相談
- 診断がつかない疾患の遺伝的背景の検討
- 患者さんやご家族が遺伝について不安を抱えている場合



遺伝に関する不安や疑問を持つ患者さんは少なくありません。「遺伝かもしれない」「家族にも関係するのでは」といった不安があれば、医療スタッフへお伝えください。スタッフから遺伝カウンセラーに伝えられ、相談につながれます。

最後に

遺伝カウンセラーは、患者さんと医療者をつなぐ“橋渡し役”です。院内での連携を通じて、より質の高い医療の提供に貢献していきたいと考えています。ご相談やご不明点がありましたら、お気軽にご連絡ください。



談話室

当院は基幹型臨床研修病院です

医科基幹型臨床研修病院では、病院全体で研修医を育てるプログラムを有し、各診療科で資格を持つ指導医を中心に、医師以外の多職種で構成される指導者とともに研修医を指導、評価しています。

2004年以前は、大学を卒業し、医師国家試験に合格すると、自分の興味ある診療科を選び、主に診療科の先輩から指導を受けていました。つまり、最初から専門性に特化した領域を学ぶことができました。昨今の高齢化社会においては、幅広い知識と診療能力を有することで、既往疾患や加齢とともに新たに発生する病態も踏まえ、臓器を診るのではなく、多職種によるチーム医療も経験することで、患者さんの体と生活全体を診療できる医師が必要とされています。

臨床研修の目標は、「医師が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野に関わらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷または疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身につけることのできるもの」とされています。

当院では、より良い研修プログラムを作成し、指導体制を整備することが、質の高い研修医を育成することにつながると考えて、「卒後医師臨床研修評価機構」による第三者評価を受け、認定されています。

歯科臨床研修は1年間ですが、当院では、2年目の専門研修も行い、協力型研修施設である外部の歯科クリニックでも研修を行います。



JCEP認定証

令和8年度の臨床研修の様子



患者さんからのご意見

子供のオムツ替えが全部小さい子供用しかなく、小学生や小学生以降の子供や成人のオムツ替えができるところを作って欲しいです。



オムツ替えシートについて

この度は、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

当院では、中央棟の地下1階にある車椅子用お手洗いに、100kgまで利用可能な多目的シートを取り付けておりますので、ご利用いただければ幸いです。



中央棟 B1F

東棟 B1F

南棟 B1F